

高圧洗浄



STEP 1

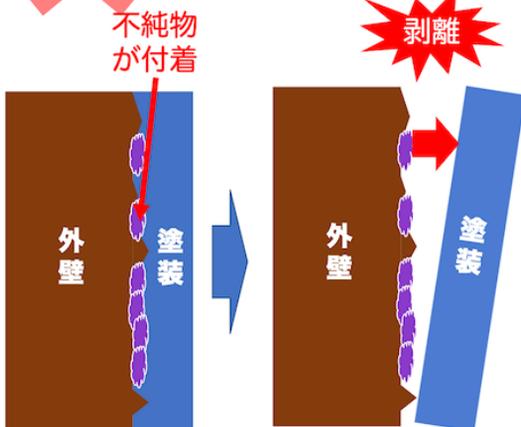
外壁塗装工事の工程

- 1 高圧洗浄
- 2 下地処理
- 3 シール
- 4 シール乾燥
- 5 養生
- 6 下塗り
- 7 中塗り
- 8 上塗り
- 9 光触媒
- 10 塗物
- 11 屋根塗装



外壁塗装前の洗浄の重要性

外壁をしっかり洗浄せずに不純物が付着したまま塗装をした場合数年以内の剥離の原因に



外壁をしっかり洗浄して不純物を除去すると塗膜が安定して塗料の性能を発揮できる



ご協力ありがとうございます。



下地処理

STEP2

外壁塗装工事の工程

- ① 高圧洗浄
- ② 下地処理
- ③ シール
- ④ シール乾燥
- ⑤ 養生
- ⑥ 下塗り
- ⑦ 中塗り
- ⑧ 上塗り
- ⑨ 光触媒
- ⑩ 塗物
- ⑪ 屋根塗装



外壁は常に風雨、紫外線、熱などにさらされる過酷な状態にあります。ですから当然、埃や苔などの汚れもついていますし、外壁自体もクラック（ひび割れ）が発生していたり、いたんでいる場合もあります。

それらを無視して外壁塗装をしても、一時的にキレイになっただけで、すぐに塗料が剥がれてきたり、すぐにクラック（ひび割れ）が再発したり外壁塗装でありがちなトラブルにつながります。

下地処理は、塗装後見えなくなる部分です。しかし、きちんと行わなければならない**仕上がりや耐久性に影響する非常に重要な作業**です。



ご協力ありがとうございます。



シール工事

STEP3

外壁塗装工事の工程

- 1 高圧洗浄
- 2 下地処理
- 3 シール
- 4 シール乾燥
- 5 養生
- 6 下塗り
- 7 中塗り
- 8 上塗り
- 9 光触媒
- 10 塗物
- 11 屋根塗装



シール工事とは、空気・水などのもれを防ぐ【密封・密閉】という意味です。サイディングパネル板の継ぎ目を密封して水漏れを防ぐ工事

建物の防水に欠かせないシーリング。外壁材やタイルなどのつなぎ目を目地といい、この目地を埋めるものをシーリングといいます。

コーキングともいいますが、サッシ周りも含め、外からの水の侵入や漏水を防ぐために伸縮性のあるゴム状の素材でシーリングします。毎日の紫外線や経年劣化でシーリング材が固くなるとひび割れや収縮して隙間ができてしまい防水機能が弱くなります。



ご協力ありがとうございます。



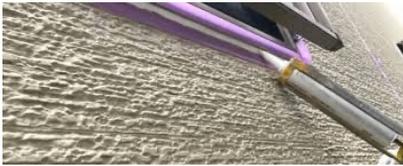
シール乾燥

STEP4

外壁塗装工事の工程

- ① 高圧洗浄
- ② 下地処理
- ③ シール
- ④ シール乾燥
- ⑤ 養生
- ⑥ 下塗り
- ⑦ 中塗り
- ⑧ 上塗り
- ⑨ 光触媒
- ⑩ 塗物
- ⑪ 屋根塗装

3-7日間 シール乾燥期間中！



この乾燥期間はとても大切な期間です。シーリング材の乾燥時間を十分に取らなければ、外壁塗装を行った時に必ず不具合が起きてしまうからです。

シーリング材には防水機能を果たす役目があるため、完全に乾かないまま塗装をしてしまうと蓋をするのと同じことでシーリング材の中が乾燥しないままになってしまいます。

* 表面が乾燥していても中が乾燥していないことがあります。

しっかり乾燥させる為に約3～7日程、乾燥期間をおきます。



ご協力ありがとうございます。



ビニール養生

STEP5

外壁塗装工事の工程

- ① 高圧洗浄
- ② 下地処理
- ③ シール
- ④ シール乾燥
- ⑤ 養生
- ⑥ 下塗り
- ⑦ 中塗り
- ⑧ 上塗り
- ⑨ 光触媒
- ⑩ 塗物
- ⑪ 屋根塗装



塗装作業をする際にペンキや汚れが窓ガラス等に付かないようにビニールで覆います。この作業を養生（ようじょう）と言います。

養生は施工者の安全確保をはじめ、室内や近隣への塗料の飛散を食い止める重要な作業です。塗料の飛散を想定したり、施主様の生活スタイルに配慮したりするなど、施工をスムーズに進めるうえで欠かせない下準備です。

また、サッシ廻りの塗装や色分け箇所のラインが真っすぐ綺麗に仕上げる為にも、実は職人の技術が問われるとても大事な作業なのです。



ご協力ありがとうございます。



下塗り

塗装一回目

STEP6

外壁塗装工事の工程

- ① 高圧洗浄
- ② 下地処理
- ③ シール
- ④ シール乾燥
- ⑤ 養生
- ⑥ 下塗り
- ⑦ 中塗り
- ⑧ 上塗り
- ⑨ 光触媒
- ⑩ 塗物
- ⑪ 屋根塗装

塗装とは、それぞれの役割を持った塗料を塗り重ねて塗膜という膜をつくる工事です。

標準的な塗膜構造



塗装は「下地が命」です！通常の塗装工事の場合、3層塗りで仕上げます。このうちの1回目の塗装が接着剤の役割である下塗りです。下塗りをする際に使用する量を「規定缶数量」といいます。

一般的にはこの規定缶数量通りに施工をしますが、ほほえみホームの工事では、規定缶数量よりも多く材料を使用し

腕に力を入れて下地の厚みを設ける「**ダメ込み**」という工法でよりしっかりとした下地を作ります。下塗りのダメ込みをする事で外壁の耐久性を数年単位長持ちさせる事ができます。ほほえみホームが一番こだわっているポイントです。



ご協力ありがとうございます。



中塗り

塗装二回目

STEP7

外壁塗装工事の工程

- 1 高圧洗浄
- 2 下地処理
- 3 シール
- 4 シール乾燥
- 5 養生
- 6 下塗り
- 7 **中塗り**
- 8 上塗り
- 9 光触媒
- 10 塗物
- 11 屋根塗装

塗装とは、それぞれの役割を持った塗料を塗り重ねて塗膜という膜をつくる工事です。



通常の塗装工事の場合、3層塗りで仕上げます。このうちの2回目の塗装が中塗りです。下塗りでは接着剤を塗りましたが、この中塗りからはお客様がお選び頂いた色の塗料（シリコン・ラジカル・フッ素etc…）を塗装していきます。



ご協力ありがとうございます。



上塗り

塗装三回目

STEP8

外壁塗装工事の工程

- ① 高圧洗浄
- ② 下地処理
- ③ シール
- ④ シール乾燥
- ⑤ 養生
- ⑥ 下塗り
- ⑦ 中塗り
- ⑧ 上塗り
- ⑨ 光触媒
- ⑩ 塗物
- ⑪ 屋根塗装



通常の塗装工事の場合、3層塗りで仕上げます。このうちの3回目の塗装が上塗りです。基本的には、中塗りで使用した色の塗料と同じものを塗装します。もしご希望があれば中塗りと上塗りの色を変える事によりしっかり3層塗りしているかを分かりやすくする事もできます。しかし、ご希望の色をしっかりと出す為にもマニュアル通りの施工をオススメします。



ご協力ありがとうございます。



光触媒

STEP9

外壁塗装工事の工程



車のガラスコーティングと同じ要領で、外壁塗装の最後にコーティングをするトップコートです。各ハウスメーカーさんも取り扱う最上級グレードの工事です。

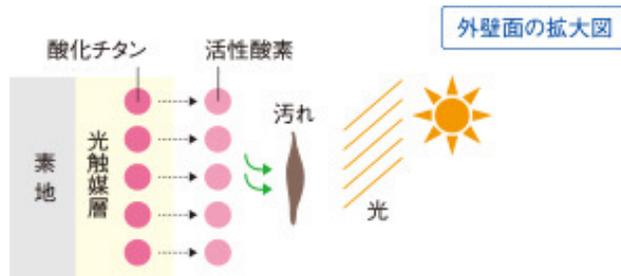
1.なぜ汚れがつかない？それは超親水性になるから！



ピュアコートは水が表面に馴染む状態の「超親水性」にします。超親水性の表面では、水は膜のように広がるため、雨水などが壁の汚れの下に入り込み、浮き上がらせて流します。太陽光が当たりづらい北面なども汚れをつきにくくします。

2.なぜ光が汚れを分解するの？それは光触媒作用が働くから。

光触媒に光があたると活性酸素が発生します。この活性酸素が表面に付着した有機物の汚れを分解し、付着力を弱めます。雨が降ると、この汚れが洗い流されやすくなります。



その他の作用

- ・ 太陽や可視光線に反応して空気をキレイにします。
- ・ ひび割れに非常に強い伸縮性があります。
- ・ 20～25年の耐久性があります



ご協力ありがとうございます。



塗物

STEP 10

外壁塗装工事の工程

①

高圧洗浄

②

下地処理

③

シール

④

シール乾燥

⑤

養生

⑥

下塗り

⑦

中塗り

⑧

上塗り

⑨

光触媒

⑩

塗物

⑪

屋根塗装



外壁・屋根以外の塗装の事を「塗物」と言います。

- 雨水を流す「樋（とい）」
- 基礎の上にある細いレールのような「水切（みずきり）」
- 軒天や屋根の側面にある板「破風板（はふいた）」など

塗装をする事で割れや劣化防止になり、とても綺麗に仕上がります



ご協力ありがとうございます。



屋根塗装

STEP 11

外壁塗装工事の工程

①

高圧洗浄

②

下地処理

③

シール

④

シール乾燥

⑤

養生

⑥

下塗り

⑦

中塗り

⑧

上塗り

⑨

光触媒

⑩

塗物

⑪

屋根塗装



「スレート」や「コロニアル」と言われる屋根は、築10年位で表面が劣化してきます。茶色く変色しだしている屋根の場合、20～50箇所程、割れたり欠けたりしている事がほとんどです。塗装をすることによって屋根の耐久性を復活させる事ができます。最近では、屋根表面の熱を下げる「遮熱塗料」が人気です。



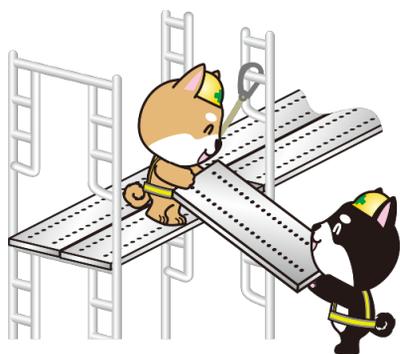
ご協力ありがとうございます。



ありがとうございました

足場の解体・清掃作業

工事中はご理解とご協力を頂き本当にありがとうございました。
ご近隣の皆様のご理解とご協力の元、おかげさまで全ての作業
が終わり、残すは足場の解体・清掃作業となりました。



残す足場解体作業の際には、また多少の
騒音等、ご迷惑をお掛け致しますが何卒
宜しくお願い申し上げます。

ご自宅のリフォームの事でお悩みの際には、是非
お気軽にご相談下さいませ。また皆様にお会いで
きる日を社員一同、心よりお待ちしております。



ご協力ありがとうございました。

